

切り絵（きりえ）

【活動可能人数：100人程度】
【活動時間（めやす）：2～3時間】
【材料費：100円】

1 切り絵とは

白黒で描かれた下絵をカッターナイフなどで、切り抜いて作り上げていく絵画の手法の一つ。簡単にできるものから細かい作業が必要とされる難易度のものまで20種類以上の下絵があります。切り抜いた下絵は、色上質紙の台紙に貼り付け、ラミネートします。

2 準備物（本所で用意します）

- ・下絵
- ・カッターナイフ
- ・カッターマット
- ・色上質紙
- ・のり
- ・ラミネートフィルム
- ・セロハンテープ
- ・ラミネーター

3 作り方

(1) 型紙を選ぶ

- ・ 型紙は、難易度によって1時間程度で切り抜けるものから、数時間を要するものまでさまざまなので、活動時間や研修生の年齢に合わせて適したものを選択する。

(2) 型紙を切り抜く

- ・ 黒または白い部分を切り抜く。（一つながりになる方を残すようにする）
- ・ 必ずカッターマットを敷く。カッターナイフの刃は切りにくくなったら交換する。

(3) 台紙（色上質紙）を選び、切り抜いた型紙をのせる

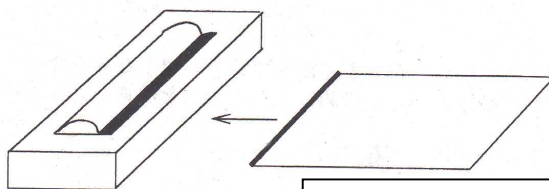
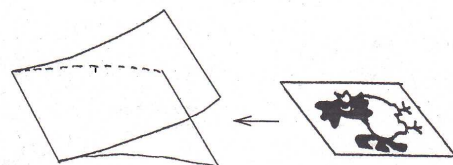
(4) パウチフィルムにはさみ、ラミネートする

- ・ 切り抜いた型紙は裏返し、黒い部分が見えないようにする。
- ・ 型紙に数箇所のりをつけ、台紙に貼り付ける。

【ラミネーターについて】

- ・ 温度125度、速度5に設定する。
- ・ グリーンのランプが点灯したら、使用可能となる。

※ ラミネートの作業は団体指導者が行う。



必ずフィルムがつながっている方から挿入する。

(5) 完成！